

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年1月12日（火）
- 2 確認箇所
淡水化装置（RO1）
- 3 確認項目
淡水化装置（RO1）からの水漏えいの対応状況

4 確認結果の概要

淡水化装置（RO1）については、原子炉注水用の淡水確保に資する施設の一つとして設置されたが、廃止に係る原子力規制委員会の認可を受け休止していた。

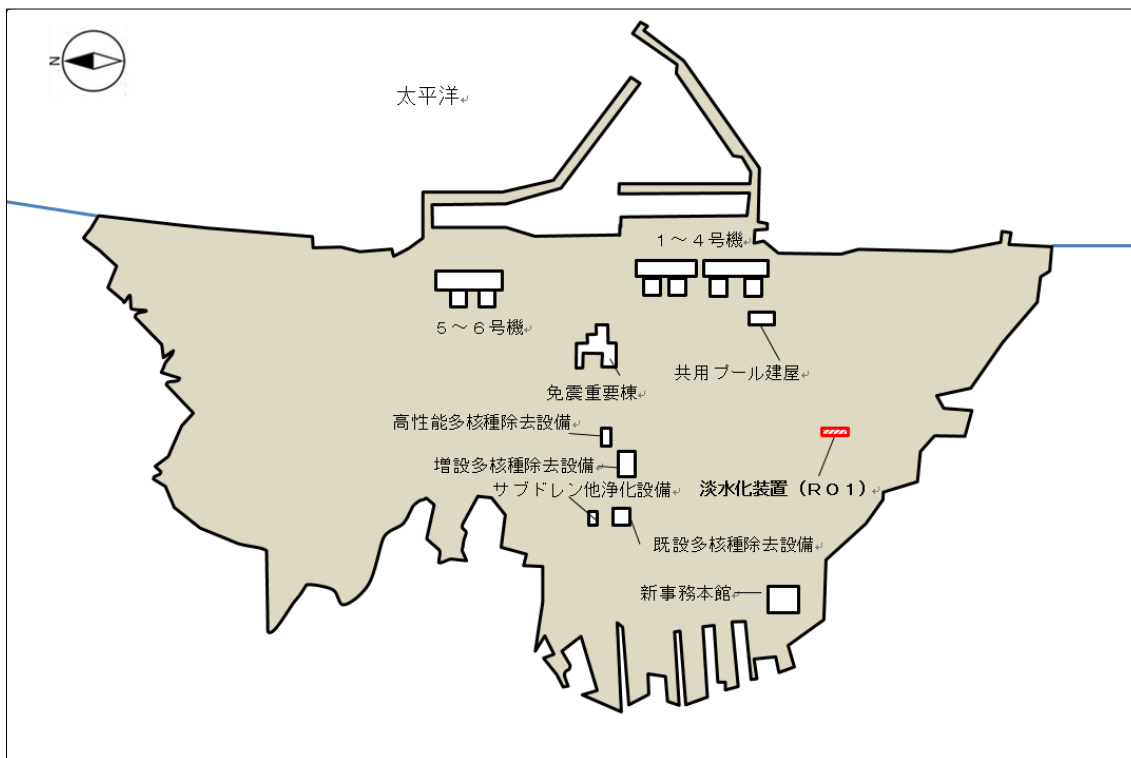
令和3年1月10日に淡水化装置（RO1）から放射性物質を含む水が堰内に漏えい^{*}したことから状況を確認した。（図1、写真1）

- ・現場確認時、東京電力職員及び作業員が淡水化装置（RO1）周辺の巡視を行っていた。
- ・漏えい箇所の一つである淡水化装置の急速ろ過装置（A）及び（B）の流量計は損傷しており、漏えい水が堰内に滞留していた。なお、確認した範囲で漏えいは停止しており、漏えい水が堰外に流出した形跡はなかった。（写真2）
- ・東京電力によれば原因は調査中であるが、配管内の水が凍結したことに伴い損傷に至ったことが考えられることから、温風ヒータを起動して凍結防止を図るとともに、漏えい水については準備が整い次第、回収を行う予定であるとのことであった。

※ 1月10日午前11時5分頃、東京電力は淡水化装置（RO1）の周辺に水たまりを発見し、淡水化装置の急速ろ過装置流量計等からの堰内に放射性物質を含む水漏えいを確認した。東京電力では漏えい停止措置を講じるとともに漏えい水が堰内に収まっていることを確認した。

なお、漏えいした水は、セシウム吸着装置で処理した水で放射性物質濃度は次のとおりである。

- ・セシウム 134：検出下限値未満、セシウム 137： 3.6×10^3 Bq/L、
全ベータ： 2.9×10^7 Bq/L



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
淡水化装置 (RO1) が設置されているジャバラハウスの外観



(写真2-1)
淡水化装置の急速ろ過装置 (A)、
(B) の状況



(写真 2 - 2)
損傷した流量計の状況



(写真 2 - 3)
堰内の漏えい水滞留の状況
(堰外に水の流出の形跡はない。)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。